

麻酔下で歯科処置を行った犬の実施月齢(年齢)についての回顧的検討

高田麻由 相模大野プリモ動物病院

三浦貴裕¹⁾ 白畑 杜⁵⁾ 草場宏之²⁾ 佐藤陽子³⁾ 永田あかね³⁾ 和田藍果⁴⁾ 吉村 忍⁵⁾ 玉原智史¹⁾ 鈴木義之⁵⁾

1)相模大野プリモ動物病院 2)横浜戸塚プリモ動物病院 3)厚木プリモ動物病院23時 4)相模原プリモ動物病院 5)プリモ動物病院相模原中央

はじめに

歯周病は、3歳齢以上の犬の約8割に起きていると言われていいる。近年、その事は広く普及はじめ犬における歯科処置は増加傾向にある。

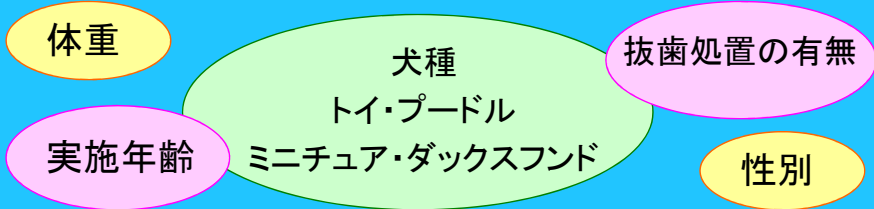
今回、どの時期に麻酔下での歯科処置が推奨されるのかを検討するために、歯科処置を実施した犬の年齢および抜歯処置の実施の有無について回顧的な検討を行った。

対象

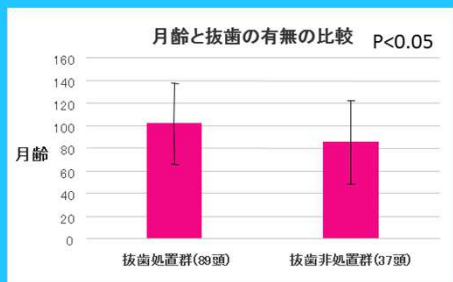
* 麻酔下での歯科処置を行った犬126頭を右の項目に分けて解析・考察した。

※初回の処置時のみの情報を対象

※2011～2015年のプリモ動物病院グループのデータより



結果1 全頭における抜歯処置群と抜歯非処置群の月齢(年齢)の比較



	平均値(月齢)	平均値(年齢)	標準偏差(月齢)	標準偏差(年齢)
抜歯処置群	101.3	約8歳4ヶ月	35.8	約2歳11ヶ月
抜歯非処置群	85.1	約7歳1ヶ月	37.1	約3歳1ヶ月

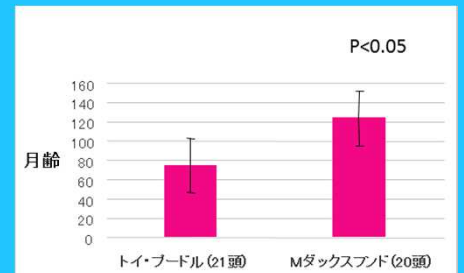
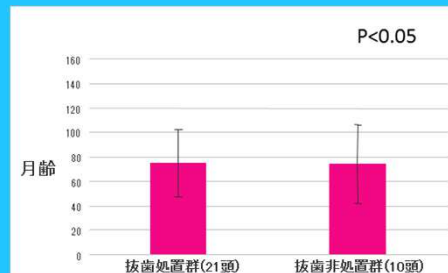
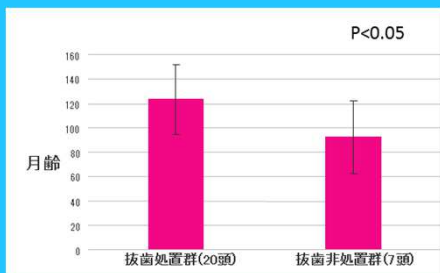
麻酔下で歯科処置を行った例のうち、抜歯非処置群に比べ、抜歯処置群は実施月齢(年齢)が高い傾向にあった。

結果2 人気犬種 ミニチュア・ダックスフンドとトイ・プードルにおける比較

①ミニチュア・ダックスフンド 実施月齢比較

②トイ・プードル 実施月齢比較

③トイ・プードルとミニチュア・ダックスフンドにおける抜歯が必要な月齢(年齢)の比較



	平均値(月齢)	平均値(年齢)	標準偏差(月齢)	標準偏差(年齢)
抜歯処置群	123.5	約10歳3ヶ月	28.8	約2歳5ヶ月
抜歯非処置群	92.3	約7歳8ヶ月	29.7	約2歳6ヶ月

	平均値(月齢)	平均値(年齢)	標準偏差(月齢)	標準偏差(年齢)
抜歯処置群	74.7	約6歳3ヶ月	27.7	約2歳4ヶ月
抜歯非処置群	74.2	約6歳2ヶ月	32.3	約2歳8ヶ月

	平均値(月齢)	平均値(年齢)	標準偏差(月齢)	標準偏差(年齢)
トイ・プードル抜歯群	74.7	約6歳3ヶ月	27.7	約2歳4ヶ月
ミニチュア・ダックスフンド抜歯群	123.5	約10歳3ヶ月	28.8	約2歳5ヶ月

月齢(年齢)が高いほど、抜歯処置を必要とする傾向が認められた。

抜歯処置群と非抜歯処置群の間で月齢(年齢)の差は見られなかった。

トイ・プードルはミニチュア・ダックスフンドよりも抜歯処置群の月齢(年齢)が明らかに低かった。

考察・まとめ

- 今回の検討では、体重、性別による有意な差は認められなかった。(データ非記載)
- 全頭およびミニチュア・ダックスフンドでの検討では、抜歯処置と比べ抜歯処置群の方が月齢(年齢)が高い傾向があった。
- トイ・プードルは非抜歯処置群の月齢(年齢)に差が認められなかった。
また、ミニチュア・ダックスフンドに比べて若齢で抜歯処置が必要であった。
→トイ・プードルでは、ミニチュア・ダックスフンドより歯周病の進行が早いと考えられる。
- 抜歯処置にならないためにもより早期に歯科処置を行ってもらうように勧めていくことが重要である。